

# ぐるり30

～自治調査会だより～

2024

3

NO. 126

[発行日]  
2024.3.1



羽村の春といえばチューリップが欠かせません。例年4月上旬には、約35万球の鮮やかな色彩と花の海を泳ぐ鯉のぼりを楽しむことができます。

【写真提供】羽村市 【撮影場所】根がらみ水田

## Contents 3月の内容

- ▶ 多摩東京移管130周年(特別編)  
・写真で見る島しょの昔と今 ～港と浜～ …… 2
- ▶ 多摩・島しょ地域データブック …… 4  
～多摩・島しょ地域主要統計表～ 2023(令和5)年版
- ▶ わたげ探偵!! こんなの調べてみました! …… 5  
～西多摩の温泉で湯ったり、ほっこり(後編)～
- ▶ オール東京62市区町村共同事業  
みどり東京・温暖化防止プロジェクト 市町村の取組紹介 … 6  
八王子市 2023八王子環境フェスティバル  
立川市 食器再使用システム支援事業  
瑞穂町 公共施設等の緑化運動(花植え)
- ▶ 多摩交流センターだより  
・「多摩の歴史講座ONLINE」配信のご案内 …… 7
- ▶ 多摩・島しょ とっておき歴史発見 ～羽村市～ …… 8



◀ 多摩東京移管130周年記念ロゴマーク  
当調査会は多摩東京移管130周年記念事業を展開しています。

公益財団法人

東京市町村自治調査会

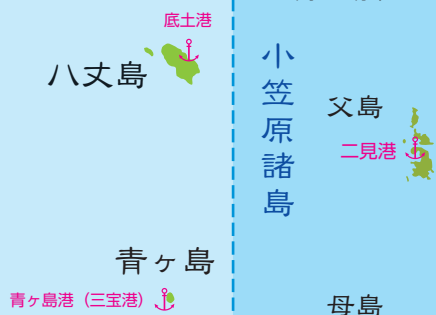
# 多摩東京移管130周年 (特別編)



## 写真で見る島しょの 昔と今 ～港と浜～



### 伊豆諸島



昔

大島町(岡田漁港)

今



▲昭和初期



昔

利島村(利島港)

今



▲昭和初期



昔

新島村(小浜漁港)

今



▲1941(昭和16)年



今年度も残すところあと1ヶ月となりましたが、2023(令和5)年度は、多摩地域が神奈川から東京に移管されて130年の記念すべき年でした。(公財)東京市町村自治調査会では、多摩東京移管130周年記念ロゴマークの制作や「#おしたま」フォトコンテストの開催、東京自治会館での「#おしたま」受賞作品と多摩・島しょ地域39市町村の写真等の展示、冊子「多摩市町村のあゆみ」の発行等の事業を実施しました。また、その内容を本紙とホームページにて発信してきました。詳細は次ページの二次元コードからご覧ください。

今年度、多摩東京移管130周年を記念して多摩地域の30市町村から提供していただいた貴重な写真を不定期で紹介してきました。島しょ地域の9町村からも提供していただきましたので、今回は特別編として、島の発展に大きな役割を果たした港を中心に紹介します。船舶が接岸できる港が整備されたことは、島の歴史にとって大きな出来事でした。写真を通して、島しょ地域の発展も振り返りましょう！

昔

## 神津島村(神津島港)

今



▲1926(昭和元年)年



昔

## 八丈町(底土港)

今



▲撮影時期不明



昔

## 三宅村(富賀浜)

今



(一社)三宅島観光協会提供

▲1970年代



(一社)三宅島観光協会提供

昔

## 青ヶ島村(青ヶ島港(三宝港))

今



▲1961(昭和36)年



昔

## 御蔵島村(御蔵島港)

今



▲昭和中～後期



昔

## 小笠原村(大村全景・二見港)

今



小笠原村教育委員会所蔵

▲1941(昭和16)年



▲本紙バックナンバー



▲[#おしたま]



▲「多摩市町村のあゆみ」冊子



▲「多摩市町村のあゆみ」動画

多摩・島しょ地域に対する理解が深まり、今以上に魅力や愛着を感じていただけたら幸いです。

# 多摩・島しょ地域データブック ～多摩・島しょ地域主要統計表～ 2023(令和5)年版

多摩・島しょ地域データブックは、国や東京都が発行する各種統計資料から、多摩地域の各市町村に関するデータを収集し、まとめたものです(※)。

また、本年度から島しょ地域についても、参照可能なデータを町村別に掲載しています。統計を通じて多摩・島しょ地域に対する理解を深めるとともに、今後のまちづくりを考える上での基礎資料としてご活用ください。

※ 2023(令和5)年版は、おおむね2023年12月までに発表された統計データをまとめています。

3月下旬に発行・公開を予定しています。冊子については、最寄りの市役所や町・村役場、図書館等でご覧ください。データについては、当調査会のホームページにも掲載します。



▲ホームページ

## ～ 本書の構成 ～

各市町村別に、下記の項目を掲載しています！

### I 人口・土地

人口、世帯及び面積  
国勢調査人口の推移 など

### II 産業

労働力状態及び産業別就業者数  
産業分類別事業所数 など

### III 都市基盤

都市計画区域の状況  
建て方別住宅数 など

### IV 保健衛生・高齢者・福祉

医療施設数  
医療施設病床数 など

### V 環境

公害苦情受付状況  
大気汚染物質測定平均値 など

### VI 教育・文化・市民活動

学校数、在学者数、本務教員数  
公立学校給食の実施状況 など

### VII 警察・消防・駅前対策

刑法犯認知件数  
火災状況 など

### VIII 選挙

有権者数等(市町村長選挙)  
有権者数等(市町村議会議員選挙) など

### IX 財政・窓口実績・職員数

市町村民税の課税状況  
普通交付税の状況 など

### 付表

市町村役所(場)所在地、  
市町村の花等 など



# わたけ探偵!! こんなの調べてみました!

◎不定期掲載

## ～ 西多摩の温泉で湯ったり、ほっこり(後編) ～

多摩・島しょ地域には、隠れた魅力や知られざる不思議がたくさんあるんだ!  
慌ただしい日常から離れ、温泉で湯ったり、ほっこりしたいね☺  
今回は先月号に引き続き **西多摩の温泉** を調べたよ♪



### 奥多摩温泉 もえぎの湯 (奥多摩町)

※4月上旬にリニューアルオープン予定!

奥多摩温泉は、奥多摩の地下深く、日本最古の地層といわれる古生層から湧き出る温泉なんだって。

露天風呂からは、多摩川の清流と山並みを望めて、四季折々の風情を楽しめるよ。窓の外に奥多摩の山と木々を望める内風呂は、心と体を癒してくれること間違いなし♪

現在は施設改修工事中で利用できないけど、リニューアルオープンが楽しみで、待ちきれないね!



▲露天風呂 (改修前)

住所: 西多摩郡奥多摩町氷川 119-1 TEL: 0428-82-7770  
料金: 中学生以上 950円 (1,050円)、小学生 550円 (600円) ※未就学児無料  
※( )内は、特定日料金 (年末年始/GW/8月/11月)  
営業時間: 10:00 ~ 19:00 (最終受付 18:00)  
※4月~11月は 10:00 ~ 20:00 (最終受付 19:00)  
定休日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日)  
アクセス: JR 奥多摩駅から徒歩約10分



▲ホームページ



▲館内お食事処オススメの「奥多摩 川魚の塩焼き」

### 秋川渓谷 瀬音の湯 (あきる野市)

地下1,500mから湧き出して、アルカリ度がとても高いpH10.01のお湯は、美肌の湯として有名なんだ。豊かな自然に囲まれていて、四季折々の景色を楽しめるよ。

ほかに、大きな窓に囲まれた眺望が豊かなレストランや東京とは思えないほどの星空を眺められる宿泊コテージ、無料で利用できる足湯など、充実した施設が魅力だね!

住所: あきる野市乙津 565 TEL: 042-595-2614  
料金: 中学生以上 1,000円、小学生 500円 ※未就学児無料  
営業時間: 10:00 ~ 21:00 (最終受付 20:00)  
※4月~12月は 10:00 ~ 22:00 (最終受付 21:00)  
定休日: 火曜日



▲ホームページ

アクセス: ① JR 武蔵五日市駅から西東京バス「瀬音の湯経由上養沢行き」で約17分、「秋川渓谷瀬音の湯」下車  
② JR 武蔵五日市駅から西東京バス「払沢の滝入口・藤倉・数馬行き」または「上養沢行き」で約11分、「十里木」で下車後、道路を横断し檜原村方面に進む。秋川にかかる石舟橋を渡り、林の中の散策路を進むと瀬音の湯に到着。(下車後徒歩8分)



▲露天風呂 (女湯)



▲露天風呂 (男湯)

### いしぶねばし 絶景!! 「石舟橋」を渡ろう!

石舟橋は秩父多摩甲斐国立公園の秋川にかかる全長96mの吊橋で、秋川渓谷のシンボリックなスポットなんだ。橋から眺める秋川渓谷の絶景は必見だよ。

瀬音の湯とは目と鼻の先だから、絶景と温泉が両方楽しんでお得だね♪



▲石舟橋

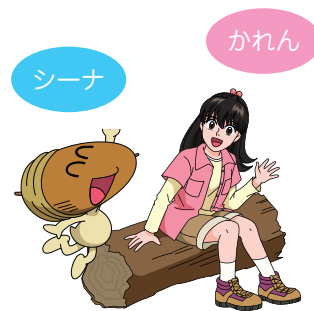


オール東京62市区町村共同事業

# みどり東京・温暖化防止プロジェクト

## 市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護と地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対し、助成を行っています。この中から多摩・島しょ地域の市町村で本助成を活用して実施された取組を紹介します。



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

### 1 八王子市 2023 八王子環境フェスティバル

八王子市では、市民及び事業者の皆様幅広く環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めることを目的として、「はちおうじの環境をみる・きく・考える」をテーマに、「八王子環境フェスティバル」を開催しています。

2023年は6月4日(日)に東京たま未来メッセで開催しました。当日は、市民団体、企業・NPO、学校、行政などが、日頃の環境に関する活動の紹介や体験型のブースを出展し、延べ約10,000人の方に参加いただき、楽しみながら環境について関心を持っていただきました。



▲竹笛作り体験の様子

【問合せ先】八王子市 環境政策課 TEL 042-620-7384

### 2 立川市 食器再使用システム支援事業

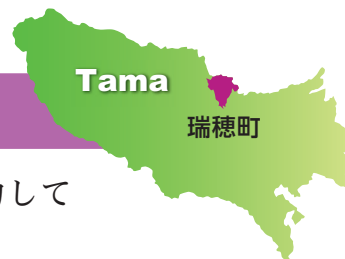
立川市では、一般社団法人栄福社会と協働で、市内の地域活動を行う団体等に再使用食器の貸出を無料で行っています。再使用可能な食器を利用することで、イベント等における使い捨て食器の減量につながります。

2023年11月末時点で、延べ17団体に9,000個の食器を貸し出しました。コロナ禍で利用者が減少傾向にありましたが、2023年度より様々な行事が開催されるようになり、また皆様にご利用いただけるようになりました。



【問合せ先】立川市 環境対策課 TEL 042-523-2111

### ③ 瑞穂町 公共施設等の緑化運動（花植え）



瑞穂町では、毎年春と秋の年2回、町内会や小学校の児童等に協力していただき「公共施設等の緑化運動（花植え）」を実施しています。

2023年度も大勢の方々に、春はベゴニア、マリーゴールド、マツバボタン、秋はパンジー、ビオラを植えていただきました。

児童たちや地元町内会の「町を花で美しくしよう」という気持ちが、一年を通して、公園や道路等を美しく彩っています。

公園や道路等に花を植えてきれいに彩ることで、花と緑に関心を持つ人が増え、地域コミュニティが活性化するように、本事業を推進していきます。



【問合せ先】 瑞穂町 建設課 TEL 042-557-7659



## 多摩交流センターだより

たましん地域文化財団・東京市町村自治調査会共催

### 「多摩の歴史講座 ONLINE」 配信のご案内

第26回を迎えた「多摩の歴史講座」は、「多摩の古代文化」をテーマにたくさんの方々にご参加いただきました。

多摩の歴史講座ONLINEでは、講演内容を編集したダイジェスト版をインターネットで配信します。武蔵国府・国分寺跡の存在だけにとどまらない古代多摩のロマンを感じられる講座となっています。ふるってご応募ください。

第1回 古代武蔵と清瀬 中野光将（清瀬市郷土博物館学芸員）

第2回 古代大型四面廂建物跡の発見 宮本涼子（日野市ふるさと文化財課学芸員）

第3回 古代多摩に生きたエミシの謎を追え 堀越峰之（帝京大学総合博物館学芸員）

第4回 深大寺の白鳳仏と渡来人高麗福信 荒井秀規（明治大学兼任講師）

◆視聴期間 3月1日（金）～8月31日（土）

◆視聴申込 視聴を希望される方は、以下の申込みフォームからお申し込みください。視聴用URLが返信されます。  
申込みフォーム URL：https://bit.ly/3SkbFK9

問合せ

《お申込みについて》 多摩交流センター TEL 042-335-0100

《講座内容について》 たましん地域文化財団 TEL 042-574-1360



▲申込みフォーム

### 「多摩交流センターだより」の問合せ先

#### （公財）東京市町村自治調査会 多摩交流センター

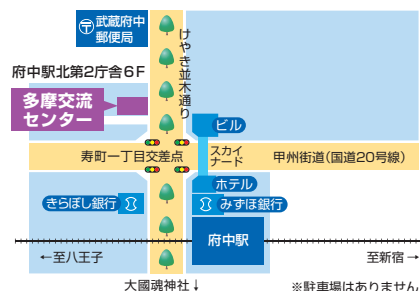
〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>

（当調査会ホームページ内にコンテンツがあります）

☆ 多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。





身近な場所で歴史を発見！今回はわたげのボクが『羽村取水堰の投渡堰』と『赤門』を紹介するよ。



### なげわたしげき 羽村取水堰の投渡堰



2014（平成26）年に土木学会選奨土木遺産に認定されたよ。鉄のけたに丸太を立てかけ、そだや砂利などを詰めて堰を作っているんだって。台風などの大雨で多摩川の水位が一定以上の高さになると、けたを外して、堰ごと流してしまうんだ。江戸時代からの仕組みが現在も生きていて、玉川上水の安全性を保っているよ。

### あかもん 赤門



徳川幕府に仕えていた眼科医の家の門を、羽村市ゆかりの小説家・中里介山が譲り受けて、1935（昭和10）年に自分の記念館に移築したものだよ。江戸時代中期の朱塗りの建築で、介山は「東大の赤門に匹敵する」と常に自慢していたんだって。現在は、羽村市郷土博物館の中庭に復原されているよ。

### 【現地案内】

#### ◆ 羽村取水堰の投渡堰

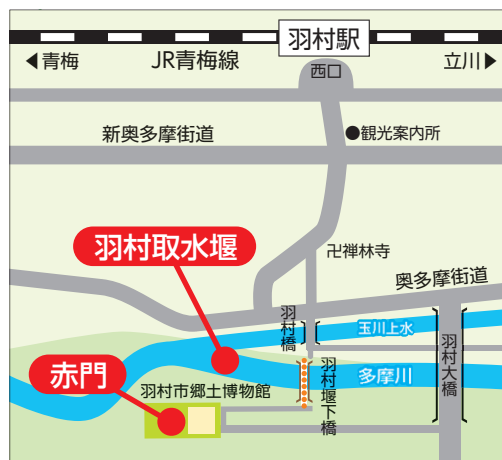
JR青梅線羽村駅西口から徒歩10分

#### ◆ 赤門（羽村市郷土博物館）

- ・ 開館時間 9:00～17:00（屋外展示は16:00まで）
- ・ 入館料 無料
- ・ 休館日 月曜日（祝日の場合は開館）  
年未年始（12月29日～1月3日）

#### 〈アクセス〉

JR青梅線羽村駅西口から徒歩15分  
※羽村堰下橋は歩行者・自転車専用



【情報・写真提供】 羽村市秘書広報課 042-555-1111

本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。 問合せフォーム▼

